

平成 15 年 第 4 回定例会 (第 4 日 12 月 3 日)

No.37 竹内英明議員

まず、中学校給食という公約についてであります。

この公約につきましては、市長のリーダーシップにより早期実現に向けて動いており、同様の公約を掲げました私としても、大変すばらしいと考えております。また、現在その給食について実施方針をパブリックコメントにかけられ、広く市民の皆さんの意見を聞いている最中と伺っております。

そこでお伺いします。この中学校給食がパブリックコメント要綱に基づく最初の意見募集であることから、新聞広告やインターネット等で広く意見を募集されたことと思いますが、12月11日の締め切りを前にして、今現在どういった意見が、何件寄せられているのかお答えください。

またこの給食問題につきましては、小・中学校の子供を持つ親に極めて強い関心があります。現在、想定されている中学校給食を民間デリバリー方式の説明、導入予定年度等含めてわかりやすく説明していただきたいと思っております。

平成 15 年 第 4 回定例会 (第 4 日 12 月 3 日)

No.44 高岡保宏教育長

(登壇)

私からは、3番の市長の公約についてのうち1点目の中学校給食について、7番の次代を担う子供、若者、子育て世代の支援についてのうち3点目の運動会における騎馬戦と棒倒しの状況、及び4点目の中学校の複数担任制導入についてお答えいたします。

まず、3番の市長の公約についての1点目の中学校給食についてのうち、アのパブリックコメントの内容と件数についてでございますが、パブリックコメント制度によりまして意見募集に当たり、中学校給食実施方針案を市役所、支所、駅前市役所において配布し、ホームページ上でも公開をいたしました。また、新聞広告やラジオ、ケーブルテレビで広報をしたほか、小中学生の保護者に案内文を配布し、意見を募りました。その結果、12月2日現在で26件の意見が寄せられました。

その主なものは、給食は栄養バランスにすぐれている。味覚を発達させたり、食わず嫌いをなくすのに効果がある。両親とも働いており毎日弁当をつくるのが大変であるので、給食の実施はありがたい。安全な食器を使用してほしい。安全な食材を使用し、日本の伝統に基づいた献立を立ててほしい。学校現場の負担がふえ、授業に支障のない内容にしてほしいなどの意見がございました。また、給食よりも子供や地域のためになることに予算を使うべきであるという意見も寄せられております。

次に、イのわかりやすい制度の説明と実施年度についてでございますが、現在、市が考えております中学校給食実施方針案といたしましては、ランチボックスによるデリバリー方式を考えております。この方式は、食材につきましては、給食に安心して使用できる食材を確保するため、市が定めた基準により小学校と同様に学校給食会で調達する予定にいたしております。

献立につきましても、成長期の子供の栄養バランスを考え、市が原案を作成し、保護者や学校現場の代表などを含めた組織で検討して作成いたします。

この食材と献立により調理業者に給食の調理を委託し、ランチボックスに詰めて配送するもので、保温コンテナ等を使用することにより、温かい給食の提供も可能であります。食べ終わった後の食器は、調理業者が回収、洗浄し、殺菌、保管庫で保管いたします。

この調理業務を委託する業者につきましても、給食の安全性を確保するために業者の選定資格基準や衛生管理基準を設け、厳密に運用してまいります。

また、生徒の食事量には個人差がありますので、おかわり用のごはんをランチボックスとは別に保温容器でクラスごとに用意することを考えております。

また、注文方法につきましては、栄養バランスの面から1カ月単位で申し込み、家庭弁当との選択制としたいと考えております。

また、集金方法につきましては、保護者が納めやすく現場の教職員の負担にならない方法を検討し、また、未収金を少なくできることから、前納制としたいと考えております。

次に、実施年度につきましては、平成16年2学期より数校で試行し、その後2カ年で全校実施を目標に取り組みたいと考えております。